

# そよかぜ 会報

2018.06

No.60

発行/特定非営利活動法人  
メンタルサポート野田そよかぜ  
理事長/齊藤 登美生  
〒278-0001 千葉県野田市目吹 2578-4  
TEL 04-7125-3955  
FAX 04-7128-5489  
<http://nodasoyokaze.jimdo.com/>  
E-mail: tsubasa@road.ocn.ne.jp

## 法人定期総会の開催と今後の方向について

理事長 齊藤 登美生

炎暑の候ではありますが、皆様方には益々ご清祥の事と拝察申し上げます。

ご承知のとおり、当法人は平成15年8月に設立以来14年経過し、運営する事業も4つとなりました。利用者・職員・役員等関係者も、それぞれの持ち場・立場において着実に活動しています。

さて、去る5月26日（土）午前10時から11時まで、法人「野田そよかぜ」の定期総会を開催し、29年度の事業実績を報告するとともに、30年度の事業計画が承認されましたので、要点をかいつまんでご紹介します。

1. 「つばさ」においては、祝休日に延べ2日間開所し、通所者の活動の場を拡大してきましたが、30年度においても、同程度の開所を行って参ります。  
また、中山馬主協会から購入費用の70%の寄贈をして頂きましたので、送迎車として新車両（日産キャラバン）を購入しました。  
更に、男子トイレを1器増設するとともに、作業場にBGM有線放送を導入して、働きやすい環境づくりをしました。
2. 「すまいる」利用者数は、平均的に横ばいです。開設8年目となる30年度においては、更にプログラムに工夫をこらし、安定した運営を図って参ります。
3. 「そよかぜハウス」は、開設以来5年が経過し、ABC棟3カ所で現在定員は13人ですが、入所希望者が、まだまだ多くおられることから、新たにD棟を増設して入所者の増員を図る方向で計画を進めます。また、支援員の運営上の利便性を考慮し、乗用車1台を法人車として購入することとしました。
4. 「相談支援事業そよかぜ」は、障がい者支援とともに児童相談支援を行っておりますが、30年度も継続して運営していきます。
5. 職員の資格取得と知識技能の向上を図るため、各種講習会・研修会への積極参加を進めます。
6. 利用者の健康増進のため、昼休みのウォーキングを継続して行います。
7. 法人主催の「そよかぜ祭」や「バスハイク」ならびに関係団体主催の「バリアフリーコンサート」「おひさまといっしょに」「釣り大会」等の行事への利用者の積極参加に努めます。
8. 当法人の創設時から、理事として活躍されてこられた板垣光子さんと谷口澄子さんがこの度退任されました。そして、新たに小俣文宣さんが理事に選任されました。

なお、地震・風水害等の自然災害にも怠り無く、備えを進めなければ、と考えているところであります。今後とも、皆様方のご支援をお願いする次第であります。

## つばさに携わるみんなて考えなくてはならない事 (今回の報酬改定について)

3年に一度の障害分野の報酬改定が行われました。全体の改定率は+0.47%と言われておりますが、実際には就労系事業所等を中心に、前年度に比べ減収となる事業所が多数出てくるものと思われまます。きょうさんれんの資料によれば、影響が特に大きいのは就労継続B型で、約7割が減収となると予測されています。

今回の改定では、就労系事業の基本報酬の算定の仕組みが大きく変わりました。B型事業所は「平均工賃月額」に応じ、基本報酬が7段階に設定されることになりました。平均工賃月額が2万円以上のところは増額、1万円台は現状維持、1万円未満が減額となります。因みにつばさは1万円未満です。

障害者自立支援法が施行されて以降、B型事業所の平均工賃は、12,222円(2006年)から15,033円(2015年)へと、わずかしこ増えておりません。厚労省の資料では、B型事業所の約4割は平均工賃月額が1万円未満となっているようですので、それだけで多くの事業所が減収となるわけです。制度の成果が上がらなかった原因に根本からメスを入れるのではなく、ここだけを見れば国が自己矛盾のホコ先を事業者に向けているような報酬改定であると、厳しい意見を公言されている方々も多くあります。同感です。

また、今回の改定では、「目標工賃達成加算」が廃止されました。基本報酬が増えた事業所でもこの加算がなくなり差し引き大幅な減収となったところも少なくありません。就労系事業に関しては、国は工賃向上を至上命題として様々な加算・減算方式を採用してきました。しかし基本報酬の部分は、利用定員数と職員配置数を基に報酬が算定される仕組みが維持されてきたのです。今回の改定は、その基本部分にまで成果主義を導入したものであり、就労系事業の根本的な在り方をゆがめる問題をはらんでいるものと言えます。先のきょうさんれんの資料によれば現場から悲痛な声もありました。利用日数や利用時間が少ないメンバーさんが多い事業所、障害の重い人が多く工賃が低い事業所、就労以外の活動(生活支援中心)に力を入れている事業所などは運営そのものが成り立たなくなるような状況が生まれてきてしまいます。そのことは結果として事業所が通所者を選ばねばならないような結果をまねかざるを得ないことが危惧されます。そもそも、報酬によるアメとムチだけで事業者を追い立て工賃向上を図ろうとする施策は、もう限界にきているのではないかと。基本報酬を基本的に引き上げ、安定した支援体制を確保することが、今こそ求められています。

とは言え、つばさでも色々考えて行かなければ、この厳しい現状を打破できません。①施設外就労先の確保かより効率の高い内職作業の確保、②メンバーさんの通所日数増等が当面の課題です。私の営業努力も心しておりますが、全理事・スタッフ・メンバーさんそして他の事業(GH・相談・すまいる)スタッフの全員が、一人ひとり自らの問題点として捉え、何を求められているか意識し、積極的な行動をとるよう協力して頂きたい。みなさんのご意見等もお願いするものです。





# バスハイク

法人

今年、3月23日、バスハイクで、明治製菓からサイボクハム、入間市博物館に行きました。

みなさんが、バスハイクに参加する楽しみは、それぞれです。「明治製菓でお菓子がもらえる!」「サイボクハムってどんなところかな?おいしいお肉が食べられるのかな。」「お茶の博物館って何だろう?」と、訪れる場所に対しての思いが一番多いでしょうか。

明治製菓では、甘い香りに包まれて、カールおじさんが出迎えてくれました。サイボクハムでは、ランチとお土産。入間の博物館では、お茶の歴史、お茶の世界、自然の展示を楽しみました。車窓は、いつもの高さとは違う、バスならではの背景、高速からの山並みを楽しむことができました。山や、空の表情は常に変わります。そんな景色の表情を楽しむことも旅の楽しみになります。行事の時でしか顔を合わせる事のない方との交流を楽しみにされている方もいます。

支援者は、どうでしょうか。私は、支援者は、バスハイクの旅では、「調味料」だと考えています。バスハイクを楽しむ主役は、みなさんです。みなさんにどれだけのスパイスという「楽しみ」を加えられるかが、支援者の役割だと感じます。作業や訓練の場では、見られない笑顔が、一番の楽しみです。次のバスハイクは10月です。みなさんと、また、参加できることを楽しみにしています。(相談そよかせ 堀口 美千代)



# 田植え

すまいる

5月11日(金)すまいるプログラムで田植えの体験をしに行きました。

メンバーは4名の参加でした。みんな初めての体験で、田んぼの中は思ったより石でゴツゴツしていて歩きづらかったです。苗植えは真っ直ぐな列で植えるのが難しかったけれど、すくすくと真っ直ぐ育っていたので嬉しかったです。収穫もみんな楽しみにしています。

(すまいる 高橋みどり 長島幸恵)







# お花見

法人

4月9日(月)つばさ・すまいる・そよかぜハウスと総勢18名のメンバーが参加しました。  
今回は、川間コースでの開催でした。天気も良くみんなでボール、フリスビー、バドで盛り上がりました。  
また来年も楽しみです。

(すまいる 高橋みどり 長島幸恵)



# BBQ

つばさ  
そよかぜハウス

今年も5月4日のゴールデンウィークにつばさでバーベキューを行いました。  
天気にも恵まれ昨年よりも参加者が増えて  
みんなで楽しくお肉や焼きそばなどお腹がいっぱいになるほど食べました。

多くの利用者から、

「また、参加したい」「秋にもやってください」

との声があり皆さん楽しい時間過ごしてもらえました。

次の機会も楽しんでもらえるように考えていきたいです。

(BBQ担当 つばさ 渡辺 健二)







# 釣り大会

法人

6月2日(土)、待ちに待った第39回野田市障がい者釣り大会が関宿グリーンセンターにて開催されました。

天候にも恵まれ、当法人から22名と多くの方が参加しました。

釣り竿に餌をつけることから始まり、悪戦苦闘している人、沢山釣れている人、皆笑顔で楽しみました。また、今年の魚は去年よりも大きく、釣れた時の感動はひとしおだったのではなでしょうか。

来年の釣り大会、今から楽しみにしている人が多く、次回も沢山の参加をお待ちしています。

(釣り大会担当 つばさ 丸山 絵理子)



# おひさまといっしょに

法人

6月16日(土)関宿総合体育館で第44回「おひさまといっしょに」が開催されメンバーさん16名が元気に参加しました。

梅雨空の中ではありましたが吹き飛ばすくらい元気に大玉運び、フラダンス、パン食いレースなど色々な種目に参加し、楽しい思い出が出来たのではないのでしょうか

今回の経験をもとに次回も、より一層楽しくできるようにしたいと思います。

みなさんご協力ありがとうございました。

(おひさまといっしょに担当 つばさ 千久田 久美子)



## 定期総会

平成30年5月26日(土)午前10時から「定期総会」が開催されました。

当日は、会員11名が参加し、また委任状参加55名を加え、計66名(会員総数91名)の出席となりました。

理事長のあいさつに引き続き、議長の選出が行われ、堀口 美千代理事が選出され、議事進行が行われました。

理事長と施設長、事務局長による平成29年度の事業・活動報告、平成30年度の事業計画案・活動計画案、事業活動計算書・貸借対照表・財産目録の報告、並びに同主要3表(事業活動計算書・貸借対照表・財産目録)の、計画案等の詳細な報告がなされ、賛成多数で承認・可決されました。

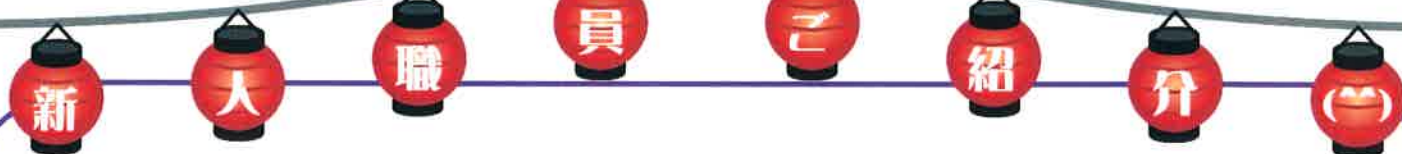
30年度役員名簿について、前年度末にて谷口澄子理事と板垣光子理事が退任しましたので新たに小侯文宣さんが就任する運びとなり賛成多数で承認可決されました。

全ての議題の審議が滞りなく終了し午前11時閉会となりました。

会員の皆様ご協力ありがとうございました。



(事務局)



《自己紹介》

こまた 小侯 文宣  
こまた 小侯 文宣

こんにちは、私は1946年4月9日生まれ、牡羊座の72歳です。生まれた土地は、新潟県上越市の山間地で日本屈指の豪雪地帯です。それなのにスキーは苦手で、冬は「ネコはコタツで丸くなる」派でした。スポーツは見るのもやるのも好きで、中学時代は駅伝部で毎日走っていました。今の趣味は、日本酒の利き酒と映画と魚釣りです。野田市釣り大会連合会の会長で、6月の「障がい者釣り大会」の実行委員長をさせて頂いています。

つばさ (B型事業所) 職業指導員 6/1付 海東 強さん 7/1付 藤井 恵美子さん  
(クローバー担当)

そよかぜハウス 世話人 4/1付 中山 美津江さん 5/1付 板谷 雅枝さん



よろしくお願ひします。



## 行事予定

10月5日(金)にバスハイクに行きます。詳細が決まりましたらお知らせ致します。